



だいの風

日高市立武蔵台小中学校

令和7年1月28日 第18号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



「二十歳のつどいに参加して」



校長 秋馬 信之

1月12日（日）日高市文化体育館（ひだかアリーナ）において、日高市「二十歳のつどい」が開催されました。かつて、恩師として成人式（令和4年までの名称）に参加した際は、式典中に騒ぐ者がいて情けなく腹立たしい思いをしたこともありましたが、しかし、節目を迎え、二十歳のつどいに参加された皆さんの態度が今年も立派で、本市で20年以上教師をしている者として、大変誇らしい気持ちになりました。今年の二十歳のつどいへの参加人数と参加率は、男性が210名で81.7%、女性が199名で64.6%、計409名でその参加率は72.4%でした。日高市の二十歳のつどいへの参加率は近隣の自治体より高く、教師として嬉しい限りです。

さて、各自治体で二十歳のつどい（成人式）を実施していますが、日本では一人前の大人になったことを社会的に公認するための厳かな儀式として、奈良時代から江戸時代にかけて広く行われた男子の元服（げんぷく）と女子の裳着（もぎ）がこれにあたります。現在は厳かな儀式というよりは、小・中学校時代の友人や恩師と再会し、友人との繋がりを確認するとともに、恩師にその成長ぶりや近況を報告する機会となっています。



日高市では「二十歳のつどい（式典）」が2部構成となっており、1部は日高市文化体育館（ひだかアリーナ）で行われる「厳かな儀式」。そして2部は、実行委員が主催し各公民館で恩師を交えて和やかな雰囲気で行う「手作りの会」となっています。私は高萩北中学校に校長として在籍したときの教え子と6年ぶりに再会しました。あどけなかった子が立派に成長し、また、心配していた子が笑顔で参加している姿を見て、改めて教師という仕事はやりがいのある職業だなとつくづく思いました。



20歳の節目をお祝いする「二十歳のつどい」。いずれ20歳を迎える台っ子に、心しておいてほしいことがあります。

それは、「二十歳のつどいは『武蔵台小中学校の卒業生として誇り』をもって、卒業生全員が誰一人欠けることなく参加してほしい」ということです。

皆さんは現在、本校を卒業したら「かけがえのない母校」となる学び舎で、授業や部活動、そして大運動会や校内音楽会などの学校行事等を通じて、たくさんの思い出をつくっています。そしてそこには仲間がいて、皆さんを第一に考え支えてくれる先生方が傍にいます。その仲間と先生方と二十歳のつどいで再会し、友人との繋がりを確認し先生方に自分の成長した姿を見せることは、とっても意義があり人として大切なことだと思うのです・・・。

1月9日（木）不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました

1月9日（木）飯能警察署・生活安全課の小林係長にご協力をいただき、不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を実施しました。子どもたちは教室の入り口にバリケードをつくり、教職員は侵入者のいる3Fに刺股や催眠スプレーをもって駆けつけて子どもたちの安全を確保しました。

避難訓練は、もしもの時に慌てず、適切な行動を取るために行うものですが、武蔵台小中学校では、もしもの時に備え避難訓練を年3回（火事・地震・不審者侵入）実施し、また教職員は校内研修で、不審者侵入時の対応訓練として講師をお招きして刺股の実地訓練を行っています。今後も私たち教職員は、保護者の方から子どもたちの大切な命をお預かりしていることを肝に銘じて、安心安全な学校づくりに努めてまいります。どうぞ宜しくお願いします。



1月16日（木）1年生～3年生へ後期課程保健委員による健康絵本の読み聞かせ

1月16日（木）朝の会において、後期課程保健委員が1年生から3年生の児童に「健康絵本の読み聞かせ」を行いました。読み聞かせの目的は、「後期課程と前期課程の交流を深める。」「体や病気、正しい生活習慣への知識を増やし健康意識を高める。」「後期課程に上級生としての自覚を持たせ、自己有用感を育む。」ことです。後期課程の保健委員は抑揚をつけて上手に読み聞かせを行い、1年生から3年生の児童の皆さんは、静かに聞き入っていました。さすが、後期課程のお兄さんお姉さんです。

09年生3名・1年1組 題名「ゲーゲー ピーピー おなかのびょうき」

08年生3名・2年1組 題名「はなみず じゅるじゅる せき ごぼごぼ」

07年生3名・3年1組 題名「まいにち からだは あたらしい」



1月19日（日）第34回ひだか郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた県大会日高予選会

1月19日（日）日高市文化体育館（ひだかアリーナ）において第34回ひだか郷土かるた大会が行われました。このかるた大会は、彩の国21世紀郷土かるた県大会日高予選会を兼ね、参加した各校の児童は県大会目指し白熱した札の取り合いを行っていました。特に感心したのは、シーンと静まり返った会場の中における、児童の息をのむ集中力と札を取る速さです。改めてかるたとは、頭と心と体を鍛える競技であると強く感じました。本当に素晴らしいかったです。県大会は3月9日（日）に越谷市で開催されます。日高市児童の代表として、精一杯頑張ってください。



〈大会結果〉 **〇県大会出場**

【小学生の部】 **〇優勝** AIZ K・Aさん S・Aさん M・Nさん

【低学年の部】 優勝 タピオカ☆スリー K・Sさん T・Yさん K・Yさん
3位 シマエナガ A・Mさん A・Yさん M・Aさん

【個人の部】 **〇優勝** K・Aさん

かるた 参加者			
1年	K・Sさん K・Rさん K・Sさん A・Kさん H・Tさん	3年	M・Aさん K・Sさん A・Mさん H・Kさん
		5年	S・Aさん T・Aさん K・Aさん M・Nさん
2年	K・Yさん A・Yさん M・Aさん K・Nさん H・Mさん T・Yさん	6年	K・Aさん
		読み手	A・Mさん O・Mさん
		審判	S・Kさん N・Nさん
		前日ボランティア	M・Mさん

1月23日（木）サッカー部 市長を表敬訪問

1月23日（木）県新人体育大会において共に戦い、埼玉県3位となった武蔵台小中学校・高麗川中学校サッカー部が、市長を表敬訪問しました。市長からは合同チームに関する質問や、次の県大会では「優勝目指して頑張るように」と激励の言葉をいただき、子どもたちは緊張した面持ちでしたが、しっかりと受け答えができていました。サッカー部諸君。市長からの激励の言葉を糧に、6月に行われる学校総合体育大会に向けチーム一丸となって進化し続けてください。期待しています！



【学校HPに注目を！】

現在、学校HPを通じて、本校の様子をできる限り速く正確に伝えるよう心掛けています。

次年度からは、学校便り等は順次ペーパーレス化をし、学校の情報は、学校HPを見れば分かるようにしていきます。

学校HP ⇒



武蔵台・横手台地区にお住まいの方を対象に武蔵台小中学校見学ツアーを企画しています。詳細は地域回覧版をご覧ください